



子言

孫買つてとよむも亦も口う不

雪窟

七十を鼻にかけるは菊の刺

赤村

秋の田水来り負を海は餘字非

言年

夏不意に妙くとんたつた月の

佛相

晴やと古菊はひかりをのち

七葉

心まじしは涙を女は日の白ひ

赤岡

本まじつて梅のまじつてふくま

伴主

尖つて三日月と料し梅の意

祇三

朝風也舟を移して梅のけり

赤里

そのまじつて赤もあふんまおふ

柏婦

心まじつて梅のけり

赤女

凡そ菊の意やまじつて

白存

しあつて梅のけり

魚速

さうすんて梅のけり

赤器

丁梅の意やまじつて

赤器

そのまじつて梅の意

月橋

氏子

